

コカ・コーラ、「北京2008オリンピック聖火リレー」を

“環境”をテーマに展開

- *Environment Heroes*として、コカ・コーラの環境活動に関わった北島康介選手らを聖火ランナーに選出 -

日本コカ・コーラ株式会社

日本コカ・コーラ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ダニエル・H・セイヤー)は、4月26日(土)に長野県内にて行われる「北京2008オリンピック聖火リレー」にあわせて、「環境」をテーマとしたさまざまな活動を展開してまいります。その一環として、これまでコカ・コーラの環境活動に携わってこられた3名を聖火ランナーとして選出し、このたび、第29回オリンピック競技大会組織委員会の承認を得て正式決定いたしました。

ザコカ・コーラカンパニー(本社:米国ジョージア州アトランタ)では、「北京2008オリンピック」のワールドワイド・パートナーを務めるとともに、「北京2008オリンピック聖火リレー」のグローバルスポンサーもつとめています。「北京2008オリンピック聖火リレー」において、コカ・コーラは、2008オリンピック競技大会組織委員会が掲げる聖火リレーの3つあるコンセプトの1つ「Green Olympics」に準じ、『Environment Heroes (環境活動におけるヒーローたち)』をテーマに据えています。

日本においては、これまでコカ・コーラの環境活動に携わっていただいた3名を、『Environment Heroes』として聖火ランナーに選出するとともに、4月26日(土)の聖火リレー当日、長野市内にて環境に関するさまざまな取り組みを展開してまいります。

[1] コカ・コーラの環境活動に関わった3名を、聖火ランナーとして選出

アテネオリンピック競泳金メダリスト 日本コカ・コーラ所属 北島 康介選手(25)

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長 細川 佳代子さん(65)

2007年第14回コカ・コーラ環境教育賞受賞団体知床自然愛護少年団メンバー 関口 菜央さん(17)

北島 康介選手は、05年4月の所属契約以降、コカ・コーラの企業理念を共有するスポーツアンバサダーとしてさまざまな活動においてコカ・コーラと協働しています。07年には、次世代を担う青少年に、「未来への夢」、そして社会の一員として「地球の未来」のために何が出来るのか考え、行動するきっかけとする「コカ・コーラ 未来への夢はじめよう。」プロジェクトを協働で立ち上げました。北島選手は、同プロジェクトのキャプテンとして、アスリートの視点で見た地球環境の保全の大切さを全国の小学生に呼びかけてきました。

細川 佳代子さんは、10年以上に渡り、コカ・コーラと共に様々な社会貢献活動で協働しています。細川さんが名誉会長を勤めているスペシャルオリンピックス日本では、08年3月7～9日に山形県で開催された冬季ナショナルゲームの競技会場や宿泊施設などにおいて、PETボトルのリサイクルフローをわかりやすく啓発するためにコカ・コーラが開発したリサイクルステーションを設置・展開推進するなど、コカ・コーラの環境啓発活動にもご賛同いただいております。

関口 菜央さんは、07年第14回コカ・コーラ環境教育賞受賞団体となった知床自然愛護少年団メンバーです。この賞は、コカ・コーラ教育・環境財団が主催となり、全国の優れた環境教育活動に取り組む個人や団体を表彰するもので、昨年は、全国から推薦された126の団体・個人の中から、特に優れた活動を行っている10団体に贈られました。知床自然愛護少年団は、キャンプなどの野外活動を通じて、知床の豊かな自然を肌で感じ、守る心をはぐくんでおると1971年に設立され、関口さんはその中で中心的な役割を担っていらっしゃいます。

【2】 コカ・コーラ「地球の温暖化と水の未来を学ぼう。」教室(仮称)を開催

2008年4月26日(土)、聖火リレー終了後に長野市内にて、コカ・コーラ「地球の温暖化と水の未来を学ぼう。」教室を実施。このフォーラムを通じてより多くの方々にもその大切さを学んでもらおうと、地元長野県の小学生らに加え、走り終えたばかりの聖火ランナー3名も参加して、一緒に環境について学んでもらう予定です。

【3】 “環境保全”をテーマにしたコカ・コーラ「グリーンパートナーズ」の結成

4月26日(土)の聖火リレー後、日本コカ・コーラおよびボトラー各社のボランティア社員約100名により構成されるコカ・コーラグリーンパートナーズが、聖火リレーの際に排出される沿道約18.5キロメートルの美化活動を行います。グローバルなイベントにおいてこのように地域に密着した社会貢献活動を展開することでコミュニティと共に環境意識を高めてまいりたいと考えています。

【4】 次世代を担う子供たちの意識を啓発: コカ・コーラ「森の博士」特派員による聖火リレー現地レポート

コカ・コーラでは、次世代を担う子供たちに環境について楽しく学び、考え、行動するきっかけを提供すべく、2006年より、森の仕組や役割、さらには環境問題などについて楽しく学べる参加型の環境教育サイト「森の博士」(<http://cocacola.co.jp/mori>)を展開しています。サイト上の森や自然に関するテストに正解すると「森の博士」に認定されます。

今回は、その「森の博士」の中から選出された「森の博士特派員」が、レポーターとして聖火リレーに関する一連の活動を子供たちの目線で現場取材します。『Environment Heroes』3名へのインタビューのほか、聖火リレー沿道でのグリーンパートナーズの活動の様子、コカ・コーラ「地球の温暖化と水の未来を学ぼう。」教室(上記【2】)などの模様をレポートし、後日、「森の博士」ウェブサイトで報告いたします。

なお、長野駅周辺にて、聖火リレーを応援する方々に向けて、コカ・コーラの環境への取り組みや、コカ・コーラとオリンピックの歴史を紹介し、来場者にその世界観を体感して頂ける「コカ・コーラ ファンブース」(仮称)を展開する予定です。

コカ・コーラの聖火リレーに関する取り組みに関する詳細は、(<http://www.cocacola.co.jp/study/olympic>)に3月20日(木)より掲載予定です。

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >
日本コカ・コーラ株式会社 広報・パブリックアフェアーズ本部
担当: 佐藤、森野
TEL: 03-5466-8120

コカ・コーラ選出 北京2008オリンピック聖火ランナープロフィール

北島 康介(きたじま こうすけ)プロフィール:



北島 康介(25歳)

1982年9月22日 東京都出身

身長:178cm 体重:72kg

種目:平泳ぎ

所属:日本コカ・コーラ

オフィシャルウェブサイト:<http://www.frogtown.jp/>

2003年7月世界選手権で100m・200m平泳ぎ2種目を制覇。

日本人初の金メダル、2度目の世界新記録樹立の快挙を成し遂げ世界に驚異を与えた。

2004年8月のアテネオリンピックで100m・200mと2冠を達成。

競泳日本選手の個人種目2冠は五輪史上初めてという偉業を成し遂げ、さらに、4×100mのメドレーリレーにおいても、日本新記録にて銅メダルをもたらした。

2007年日本短水路選手権では自らの日本記録を更に更新。

3月の世界選手権では200m平泳ぎにて優勝。

8月に行われた世界競泳2007インジャパンでは、100m・200m・4×100mメドレーリレーの3種目で金メダルを獲得。現在は、来年の北京オリンピックも見据えたトレーニングに励んでいる。

細川 佳代子(ほそかわ かよこ)プロフィール:



細川 佳代子(65歳)

神奈川県藤沢市出身

上智大学を卒業後、日本企業の欧州駐在員として渡欧。

結婚と同時に熊本に在住。御主人は第79代内閣総理大臣細川護熙氏。

1994年スペシャルオリンピックス日本を設立。

障害のある人の自立と社会参加を日常的なスポーツを通して実現する活動を行う。

2005年2月に長野で開催された「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」会長を務める。大会終了後もスペシャルオリンピックスの理念を広げるために啓蒙活動を行う。ユニバーサルスポーツとしてフロアホッケーを普及するために日本フロアホッケー連盟を設立。会長も務め、障害、性別、年齢等を超え、共に生きる喜びを感じる社会の実現を目指している。また、途上国の子どもたちにワクチンをおくる認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会理事長、知的発達障害のある青年たちを追ったドキュメンタリー映画『able』『Host Town』『Believe』などを制作した『able』の会代表も務めている。

関口 菜央(せきぐち なお)プロフィール:



関口 菜央(17歳)

1990年 12月26日生まれ 北海道知床出身

2007年第14回コカ・コーラ環境教育賞受賞団体となった知床自然愛護少年団メンバー。この賞は、コカ・コーラ教育・環境財団が主催となり、全国の優れた環境教育活動に取り組む個人や団体を表彰するもので、昨年は、全国から推薦された126の団体・個人の中から、特に優れた活動を行っている10団体に贈られた。同少年団は、キャンプなどの野外活動を通じて、知床の豊かな自然を肌で感じ、守る心をはぐくんでもらおうと、1971年に設立。団員は主に、同町ウトロの小学3年～中学3年生で構成され、現在18人が加入。関口さんは知床自然愛護少年団での活動におけるリーダーシップと、長年にわたる活動とが評価され、同少年団の団長からの推薦を受け、「環境」をテーマとしたコカ・コーラ社の聖火リレーランナーとして選出された。

*** 聖火ランナーの方に関するお問い合わせは全て本プレスリリース1ページ目の広報担当者まで
お願い致します。**

<ご参考>

(北京2008オリンピック聖火リレー概要)

テーマ ; “The Journey of Harmony(調和の旅)”

スケジュール/ ルート

| | |
|-------|---|
| 3月24日 | 採火式(ギリシャ) |
| 4月2日～ | グローバル聖火リレースタート(21都市) カザフスタン-トルコ-ロシア-イギリス-フランス-アメリカ- アルゼンチン-タンザニア-オマーン-パキスタン-インド-タイ- マレーシア-インドネシア-オーストラリア-日本-韓国-北朝鮮- ベトナム-香港-マカオ |
| 5月4日～ | 聖火リレー(中国国内) |
| 8月8日 | 北京オリンピック開会式 |

グローバル聖火リレースポンサー ; コカ・コーラ/ サムスン/ レノボ

日本での聖火リレー日程: 2008年4月26日(土)

ルート: 長野市 善光寺- 長野オリンピック会場- 若里公園 (計: 約18km)

| | | |
|------------------|-------|-------------------|
| スケジュール: 4月25日(金) | 06:00 | 聖火到着(羽田空港)- 長野へ移動 |
| 26日(土) | 08:00 | 出発式(善光寺) |
| | 08:30 | リレースタート |
| | 12:00 | 到着式典(若里公園) |

(コカ・コーラとオリンピック聖火リレーとのつながり)

コカ・コーラは、1992年のバルセロナオリンピック聖火リレーに初めて公式に参加しました。このバルセロナオリンピックでは、それまではオリンピック開催国からの参加者だけで聖火をリレーするのが一般的だった聖火リレーが、世界各国から選出された聖火ランナーが開催国スペインの聖火ランナーとともに聖火リレーに参加するという、よりグローバルな形、より多くの人々が聖火リレーに参加できる形で実施されました。そして、これは近代オリンピックの聖火リレーの歴史におけるターニングポイントとなりました。

それ以来、コカ・コーラは、1996年のアトランタ、1998年の長野、2002年のソルトレーク、2004年のアテネ、2006年のトリノでも公式スポンサーを務めて参りました。1998年の長野では、単独プレゼンターとして、長野オリンピック組織委員会と共同で1,150名もの聖火ランナーを選出いたしました。

また、コカ・コーラは、1928年以来、継続してオリンピック大会にかかわってきましたが、これは他のどの企業スポンサーより長期間にわたるものです。2005年8月にザ コカ・コーラ カンパニーと国際オリンピック委員会はパートナーシップを2009年から2020年まで12年間延長したと発表しましたが、これほど長い年数の延長は前例がありません。